

毎月15日発行 本紙は再生紙を使用しています。

JR春闘を最後まで粘り強く闘い抜こう!

2013年春季生活闘争は、3月中旬の大手を中心とする闘いに続いて、現在は中小・地場の闘いへと舞台が移っている。連合は、今春闘のヤマ場を、先行第1組合は3月11日から15日とし、JR総連もその方針にしたがい「統一要求・統一闘争」でJR春闘をつくろうと、JR5単組のヤマ場を設定した。さらに、春闘を牽引していく意志を示すため、連合・交通労協の決起集会やデモにもJR総連旗や各単組旗を先頭に積極的に参加してきた。

連合春闘の最大のヤマ場となる3月13日のJCM(金属労協)加盟大手の回答は、おおむね定昇・賃金カーブ維持分を確保し、一時金アップの動きが見られた。しかし、JCM系の多くの産別・単組は賃金改善要求を見送っている。

この動きに対し、他の産別からは「賃金引き上げ要求をしていない組合が、なぜ春闘のヤマ場を作るのか」といった意見も出されたが、今年も同じ闘いが繰り返された。

それに続く私鉄、JRなどの大手組合もすでに作られた賃金相場を突き崩すことはできず、「ベアゼロ」「定期昇給維持」に終わらざるを得なかった。このため、各単組は一時金を

はじめ、非正規雇用社員の条件アップやシニア層の賃金改善、各種手当での労働条件改善などに力を入れた交渉を繰り返して、多くを勝ちとった。

他方、JR連合は早々に妥結したため、JR東海労、JR西労は、職場で汗して働く社員・組合員の苦勞に何ら答えていないとして持ち帰り、あらためて要求を提出するなど交渉を重ねた。しかし、JR連合の先行妥結による否定的な現実の中で、交渉による前進は勝ち取れないと判断し、妥結の通告を行った。

先行大手の妥結やJR各社の状況を受けて、鉄研労、システム労は厳しい交渉を余儀なくされた。

労連加盟単組の多くはこれから本格的な交渉・回答を迎える。総じてJR本体の交渉・妥結状況に左右される傾向が強い。また、連合傘下の中小・地場の闘いもこれから本格的な交渉のヤマ場を迎える。

JR総連は各単組・労連に結集する仲間への激励・支援をはじめ、地場共闘、非正規共闘との連携の取り組みをさらに強化していく。

JR春闘の真価を發揮し、最後まで粘り強く闘い抜こう!

2013JR春闘賃金要求・交渉状況(9単組)

	北海道労組	東労組	東海労	西 労	貨物労組	鉄研労	システム労	テレコム労組	聚楽労組
要 求	内 容	ベア2,000円	ベア2,000円	ベア2,000円	ベア2,000円	ベア2,000円	ベア2,000円		3,000円
	諸制度・職場改善等	夏季3.1+5万、GS正社員化、GS制度の廃止	定昇4×1,500円、夏季手当3.5ヵ月、65歳定年制	定昇5,000円増、夏季手当3.0ヵ月、年末手当3.5ヵ月	55歳以上・契約社員の改善等、B単価127/100	諸手当・職場環境の改善等	諸手当・職場環境の改善等	(1.39%) 諸手当・職場環境の改善等	諸手当・職場環境の改善等
回 答	提出日	2月15日	2月15日	2月12日	2月13日	2月14日	2月26日	2月1日	2月20日
	賃 金	定昇実施	定昇実施	定昇実施	定昇実施	定昇実施	定昇実施	定昇実施	
回 答	その他	50才以上54才以下の社員の昇給号俵の改善、55才以上及びスタッフに一時金支給等	夏季手当2.85ヵ月エルダー・GS精勤手当2万円加算等	夏季2.95月	56歳以上の職務遂行給に1,000円加算等	55歳以上1,500円の賃金改善、契約・臨時社員の基本給改善2.14%引上げ等	子の養育を目的とした積立年休の使用について検討等	希望者全員が65歳まで働ける制度の確認等	
	回答日	3月15日	3月14日	3月14日	3月15日	3月15日	3月22日	3月21日	(4月下旬)
	妥結(3/15)	妥結(3/14)	持帰り検討再申し入れ 妥結(3月25)	持帰り検討再申し入れ 妥結(3/19)	妥結(3/15)	持帰り検討 妥結(3/28)	持帰り検討 妥結(3/28)	交渉中	交渉中

第8回日韓労組協力会議を開催

JR総連は2013年3月18日、韓国鉄道連帯、国際労働者交流センター(ICLS)韓国本部と共に第8回日韓労組協力会議を静岡・伊東さつき会館で開催、日韓の鉄道や地下鉄労組代表者をはじめ24名が参加した。

JR総連武井委員長は開会あいさつで、東日本大震災で被災した線区の早期復旧に向けた取り組み、JR総連・JR東労組による震災の現実、教訓、提言を今後の鉄道安全対策にいかす取り組みについて紹介した。また、日本の政治状況等について触れ、平和が脅かされている今だからこそ、国際連帯の強化を意識して会議をつくるよう訴えた。

韓国・軌道協議会のイ・ヨンイク氏からは「この間の日韓での安全問題についての議論が韓国に良い影響を与えてくれた。軌道協議会は今年、事故の原因究明を意識して取り組んでいくことを決定した」と報告され、この間の交流と議論のひとつの成果を相互に確認することができた。

会議では昨年の日韓交流やICLSの取り組みの総括と、今年の交流計画を確認した。また、今年9月に開催予定の第10回日韓労組リーダー討論会のテーマを「保守政権下での日韓労働運動の今後の展望」とすることを決定した。

JR総連は今回の会議での議論をもとに、韓国労働者との交流と議論を積極的につくり出す。



督永忠子さん帰国報告会

3月16日、目黒さつき会館で、NPO法人バ・ウェルフェア・アソシエーション(略称: NWA)の総会と現地責任者の督永忠子さんの講演会が行われた。

JR U-PACを通じて建設されたギルギットの母子センターではこれまで、縫製教室、料理教室、そして小学生のための算数教室が行われてきた。とくに算数教室は、落第した貧しい家庭の子どもが落ちこぼれ、イسلام原理主義に陥ってしまうことのないようにと、督永忠子さんが発案した。

現在、母子センターは、ギルギットの治安悪化により女性や子どもたちが通うことが困難になっている。このため、近隣の村々に算数教室を開設している。

算数教室は地域からも受け入れられ、入校の希望とともに会場提供の申し出が多く寄せられるなど、教育に対する姿勢も変わりはじめたという。

JR総連は、これからも督永忠子さんの取り組みを支援し、パキスタンに平和を取り戻す一助になりたい。

なお、NWA理事長には、引き続きJR総連の萩原副委員長が就任した。



いざ!という時、大丈夫ですか? あなたの保険

- 《取扱商品》
- ▲ 自動車保険・組合主催行事保険
 - ▲ ゴルフ保険
 - ▲ がん保険・医療保険
 - ▲ JR積立年金
 - ▲ 組合旗・組合バッジ・ゼッケン
 - ▲ 健康食品・自然食品・お茶・みかん

JR総連・各JR労組賛助団体
(株)鉄道ファミリー
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
TEL03(3490)3862 JR(058)4114・5

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

責任品質



排外主義、人種差別の広まりを 押しとどめて平和な世界を!

ここ最近、全国で「嫌韓デモ」が行われている。デモでは日の丸や旭日旗を掲げ、「朝鮮人 首吊レ 毒飲メ 飛び降りロ」と書かれたプラカードを掲げる人もいる。

この動きに反対するため、3月14日、参議院会館で、「排外・人種侮蔑デモに抗議する国会集会」と題された集会が、参議院議員の有田芳生氏ら11名の呼びかけで開催された。

冒頭、有田氏は「殺せ」などの発言は表現の自由の一線を越えた」と集会の趣旨を説明し、「ジャーナリストの安田浩一氏による基調報告や、民族派右翼団

体「一水会」の鈴木顧問、木村代表の発言、弁護士らによる議論も行われた。

集会宣言では、「在日韓国朝鮮人などを差別し侮蔑する行為は、公共の平穏を乱し、人間の尊厳を傷つけるもので、決して許されるものではない」という考えを述べ、差別を押しとどめる闘いを行っていく。



脱原発法案 再提出へ! 国会議員と市民の集い

3月11日、参議院議員会館で「脱原発法案 再提出へ!」国会議員と市民の集い」が開催された。主催は脱原発法制定を求める市民団体である「脱原発法制定全国ネットワーク」。

集会には国会議員、市民、報道関係者合わせ80名近い参加があり、JR総連も武井委員長をはじめに参加した。集会では、賛同議員に名前を連ねた田城議員も決意の一端を述べられた。

突然の衆議院解散で廃案となった「脱原発法案」の再提出に賛成・賛同した議員は、この時点で26名だとの報告があった。今後も広く賛同を呼びかけていくという。

東日本大震災発生から2年。この日に参議院に対して提出された法案は、原発維持の方針を鮮明にする安倍政権に対する力強い否定の意志の表明である。JR総連は脱原発法制定全国ネットワークと、法案に賛成・賛同している議員たちと協力して脱原発法の成立を旨として奮闘していく。

また、各地協が開催する春闘討論集会等にも参加し、組合員の声と決意を聞き、あわせてJR総連の姿勢を示した。

さらに、3月7日以降、労連加盟の在京14組合に対する激励行動を各単組本部・労連事務局ともに行っている。労連加盟の各組合は厳しい交渉になっているが、連携を強化し、要求実現に向けてともに最後まで粘り強く奮闘していくことを確認してきた。

JR総連の旗の下に集うすべての仲間のために、ともにたたかおう!

また、各地協が開催する春闘討論集会等にも参加し、組合員の声と決意を聞き、あわせてJR総連の姿勢を示した。

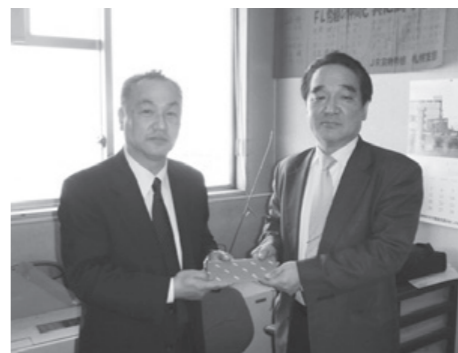
さらに、3月7日以降、労連加盟の在京14組合に対する激励行動を各単組本部・労連事務局ともに行っている。労連加盟の各組合は厳しい交渉になっているが、連携を強化し、要求実現に向けてともに最後まで粘り強く奮闘していくことを確認してきた。

JR総連の旗の下に集うすべての仲間のために、ともにたたかおう!

春闘はまだ続く! 春闘激励の取り組みを強化



日本運輸倉庫労組の皆さんと東海林政策部長



萩原副委員長と原田FL労組委員長



JR貨物労組鶴木副委員長と小室共闘部長



JR貨物労組鶴木副委員長と小室共闘部長

「花と希望を届ける3・8行動」に参加することができました。私は、宮城県東松島市の「矢本運動公園仮設住宅」にお邪魔して、一軒一軒花を届け、様々な話をお聞きしました。一番多かったのは、「鉄道を早く復旧させてほしい」という声でした。「仙台の病院に行くために3回4回と乗り継がないとならない。年寄りの身にはつらい」、「以前は仙台駅で親が鉄道に乗せ、東松島で私が迎え、小さい孫が頻りに遊びに来てくれた。今は、全く来ることができない。生きがいが失われた」、「通学がバスだと大幅に通学時間が増大し、勉強時間確保にも苦労する」等、交通弱者と言われる年齢層に大きな影響が出ていることを改めて実感しました。

この地域は仙石線が2年後に鉄道復旧が決定しており、もう少しの辛抱です。しかし、大船渡線、気仙沼線、山田線等は、高台移転など含めた街づくり等諸条件との関連する側面もあるので、決定には時間がかかることも現実です。しかし被災した線路はいずれも同じ状況です。一日

元JR東労組本部副委員長嶋田ら9名が、虚偽のリストをマスコミに配布したことに対し、故松崎明氏をはじめとする実名を挙げられた43名が原告団を結成し、名誉毀損などで法廷の場で闘ってきた。

3月27日、東京地裁は、原告団の主張に一切踏み込むことなく、請求を棄却したばかりか、被告らの「反訴」を一方的に認める反動的な判決を下した。

原告団は報告集会の後、ただちに控訴を決定している。JR総連は、組織破壊にさおさす反動判決を断固として弾劾するとともに、控訴した原告団を全面的に支え闘っていく。



報告集会で怒りのシュプレヒコールを行う原告団と組合員

「嶋田一味糾弾訴訟」反動判決弾劾!
原告団とともに闘おう!



田城議員近況